

## 令和5年ねじ商工連盟総会議事要旨

ねじ商工連盟

開催日時：令和5年8月3日（木）12：30～15：00

開催場所：新横浜 グレイスホテル

出席者：（順不同、敬称略）

（日本ねじ商業協同組合連合会）

氏名	連合会役職	会社名	組合名
馬場 美由紀	会長	(株)馬場	
新保 良孝	副会長	(株)シンボ	東京鉚螺協同組合
小泉 伸仁	副会長	(株)富士鉚螺	神奈川県鉚螺協同組合
大野 正博	副会長	(有)中部製作所	愛知鉚螺商協同組合
和田 正	副会長	(株)ヤハタ	大阪鉚螺商協同組合
石川 隆一	常任理事	石徳螺子(株)	東京鉚螺協同組合
竹内 則康	常任理事	(株)竹内工業所	東京鉚螺協同組合
小林 真一	常任理事	小林商工(株)	神奈川県鉚螺協同組合
小倉 正嗣	常任理事	(株)小倉商店	愛知鉚螺商協同組合
大山 寛之	常任理事	(株)オオヤマ	大阪鉚螺商協同組合
梅田 真吾	常任理事	(株)梅田精密	大阪鉚螺商協同組合
藤田 守彦	理事・相談役	藤田螺子工業(株)	愛知鉚螺商協同組合
面木 哲男	事務局長		

（(一社)日本ねじ工業協会）

氏名	協会役職	会社名
高須 俊行	副会長	富士セイラ(株)
椿 省一郎	顧問	(株)互省製作所
西川 倫史	評議委員	日本鉚螺(株)
辻本 康則	評議委員	金剛鉚螺(株)
平戸 眞澄	監事	(株)平戸製作所
平田 政弘	評議委員	平田ネジ(株)
松本 典丈	評議委員	松本ナット工業(株)
柿澤 宏一	評議委員	興津螺旋(株)
荻上 和彦	事務局長	

### 議 事

日本ねじ工業協会（以降、ねじ協会）高須俊行副会長の議事進行で開会。初めにねじ商工連盟 藤田守彦会長から挨拶があり、続いて日本ねじ商業協同組合連合会（以下、ねじ商連）馬場 美由紀会長から挨拶の後、ねじ商連側出席者、ねじ協会側の出席者の順で自己紹介を行い議事に入った。

## 議題1 2022年度収支決算並びに剰余金処分案並びに2023年度収支予算案

事務局より、資料1、資料2に基づき2022年度収支決算並びに剰余金処分案並びに2023年度収支予算案について説明があった。

## 議題2 ねじ商工連盟の今後の進め方について

ねじ商工連盟 藤田守彦会長より、資料にもとづきねじ商連側からねじ協会側への「ねじ商工連盟総会・在り方に付いての申し入れ」について説明。続いて出席者からの意見交換を実施。

意見交換の概要は以下のとおり。その結果、様々な意見が出たが、ねじ協会とねじ商連の共通課題について議論する場を設けること、また議論する場はねじ商工連盟総会の年1回だけではなく、双方代表者による小委員会を組織して事前に行うことについての要望が多くあったことを確認した。

### <意見概要>

- ・これまでは、ねじ商工連盟で集まるために議題を考えだしていた。ねじ商工連盟の必要性はどこにあるのか。「議論が必要だから集まる」に方針転換が必要ではないか。
- ・材料の高騰の件など、ねじ協会側とねじ商連側の共通の課題は、ねじ産業として意見集約して経済産業省への意見具申をしてははどうか。ねじ商連側は経産省とのつながりは弱いため工側に橋渡し等を期待したい。
- ・ねじ協会側とねじ商連側で連携できるようなテーマで意見交換を行っていききたい。
- ・ねじ商工連盟でねじ協会側とねじ商連側で共通な課題（例えば、JIS 本体規格品の普及、製品の入数問題）に取り組むような変革をするならば、ねじ協会側、ねじ商連側双方で事前準備が必要であり、これまでの予算ではとても足りない。やるのであれば徹底的にやるべきであり検討する小委員会が必要ではないか。
- ・ねじ協会側とねじ商連側の共通の課題に取り組むのであるならば年1回集まるだけでは難しい。
- ・小委員会などのざっくばらんに議論できる場を作るべきではないか。コミュニケーションを図る環境づくりが必要であり、やれることからやっていくべき。
- ・ねじ商工連盟で議論する内容については、事前に組合内で討議する時間を設けたい。
- ・ねじの日の広告は、なぜ業界内向け（金属産業新聞／ファスニングジャーナル）に掲載しているのか。日経や日刊工業、一般紙など、ねじ業界以外向けに広報すべきではないか。
- ・ねじ協会側では納入業界や材料が違えば話がまとまらないのではないのか。ねじ商連側でも取扱品目が異なれば同様である。
- ・ねじ協会側でも直需納入メーカーと流通に携わるメーカーでは分けてグルーピングしないと議論が成立しない。

上記意見交換を受けて、ねじ協会 高須副会長より、ねじ商工連盟は、ねじ協会側、ねじ商連側でそれぞれ3名程度の代表者で構成する小委員会を組織し、事前準備を行ってテーマを決めるなど目的をもって開催するという事で当面継続するという結論を確認した。また本日終了後、ねじ商連、ねじ協会双方の会長、副会長で、小委員会への代表者選任に関する協議をした上で、12月迄には小委員会を開催することも確認された。

### 議題3 会長並びに副会長の改選について

ねじ商工連盟が継続することから、次期、ねじ商工連盟会長、副会長改選について討議され、最近数年間、ねじ商工連盟総会が中止となっていたこともあり、引続き現在のねじ商連側からねじ商工連盟 会長をねじ協会側からねじ商工連盟 副会長を選任することとなった。その結果、2年間の任期で、ねじ商工連盟会長に馬場 美由紀ねじ商連会長、副会長に佐藤 義則ねじ協会会長が選任された。

以 上

(文責 ねじ協会 事務局 荻上)